

会議録【要旨】

会議名	平成27年度(2015年度)第1回箕面市子ども・子育て会議					
開催日時	平成27年(2015年)6月10日(水)19時00分～21時00分					
開催場所	箕面市役所 本館3階 委員会室					
出席者	委員	吉永委員	田中委員	工藤(英)委員	吉田委員	松木委員
		廣瀬委員	井上委員	北島委員	富永委員	
		[欠席]	宗形委員	工藤(可)委員	樋口委員	
出席者	事務局	子ども未来創造局：大橋局長、樋口担当部長、木村担当部長、 小西副部長、岡担当副部長、稲野副理事、 坪田課長、今中室長、村田室長、松尾、巢組				
		地域創造部：水谷副理事、鈴木参事				
傍聴者	1名					
会議次第	I 開会 II 案件 【案件1】第三次箕面市子どもプラン(案)について 【案件2】(仮称)豊川支所内保育園について 【案件3】箕面市立地適正化計画(素案)について その他 III 閉会					
主な内容は次のとおり。 I 開会 <ul style="list-style-type: none"> ・会長の選出：吉永委員 ・会長職務代理の指名：田中委員 ・児童福祉部会長の指名：田中委員 ・青少年健全育成部会長の指名：廣瀬委員 ・出席状況等の報告、配布資料の説明・確認 II 案件 <p>【案件1】第三次箕面市子どもプラン(案)について</p> <p>案件1について、資料1「第三次箕面市子どもプラン(案)」に基づいて事務局より説明</p> <p>会 長：ただいまの説明について、意見や質問等はあるか。 (事務局に)もし、この場での発言が難しい場合は、後日でもいいか。 事務局：現在、23日までパブリックコメントを実施しているので、その期間中に意見をいただけるとありがたい。</p>						

委員：北大阪急行の延伸に伴う開発はどこまで見込んでいるのか。

事務局：人口推計では見込んでいるが、保育所等の整備は、北大阪急行が延伸される平成32年度(2020年度)が計画期間外となるため、駅周辺での整備予定だけ記載し、予定定員などは入っていない。

委員：子どもの貧困問題について、ひとり親家庭、特に母親だけの家庭は経済的に厳しいように思うが、あまり記載が詳しくないように見える。

事務局：子どもの貧困問題については、計画に系統立った記載ができておらず、具体的な施策が先行している状態。77ページの「学力保障・学習支援」事業は、学習支援が必要な子どもの家庭に学生サポーターを派遣する事業だが、昨年度までは対象児童を不登校又は不登校気味の子どもとしていたところを今年度から経済的に困窮している家庭の子どもにも広げた。

委員：保育所485人分の整備計画を前倒ししたら、5年間でもっと整備するのか。

事務局：485人という人数は、人口推計や子ども全体の中で保育の利用を希望する割合（利用意向率）などの推計から算出した、今後5年間で不足するサービス量のため、計画としては485人分の整備で足りる見込み。ただし、計画に記載している年度ごとの整備数にはこだわらず、早期に485人分を目指して整備する。

ただし、人口推計は絶えずフォローアップしていく。

委員：彩都小学校の増築が計画されているが、白島荘跡地が不動産会社に売却されるなど、彩都の他にも開発予定がある。開発を見据えた学校や保育所の整備を検討してほしい。

委員：第5章に「点検、評価」「計画の推進体制」とあるが、この子ども・子育て会議がどう関わるのか。

事務局：まだ細かく決めていないが、保育所整備などのハード面の実績は、計画の数字との比較、各種事業などのソフト面は、実施状況の説明を行い、ご意見をいただく予定。

委員：現場の立場から言うと、子どもが増えるのは喜ばしいが、保育士の確保ができるのか。新卒者がなかなか保育所に就職しない現実がある。

事務局：保育士の確保が難しいことは認識している。市では、提携している大学での就職説明会に加えて、今年度から、市内の民間保育所に就職した保育士に対する家賃補助や保育士を目指す学生への貸付制度を実施する予定。

委員：子育てサークルは、親がサービスの受け手としての立場だけでなく、サービスの担い手としても活動できる場。もっと協働が必要ではないか。

事務局：「家庭・地域における子育て・親育ちへの支援」の「主な取り組み」として、32ページに「子育てサークル活動の場の提供・活動支援」と記載しているが、子育てサークルの活動支援は実施している。

ただし、子育てサークルをいくつ増やすといった数値目標を掲げるのは難しいので、これまでの取り組みを継続していくという内容で文章のみ記載

している。

会 長：サービスの受け手が、サービスの担い手にもなるという委員のご指摘は大切な視点を含んでいる。子ども自身もまちづくりに参加する必要がある。ユニセフが提起している「子どもにやさしいまち」の視点から、子どもの参加、エンパワーメントをすすめていくことが大切。

【案件2】(仮称) 豊川支所内保育園について

案件2について、資料2「(仮称) 豊川支所内保育園について」に基づいて事務局より説明

会 長：ただいまの説明について、意見や質問等はあるか。

委 員：何を審議すればいいのか。

事務局：認可するにあたって、市に注意してほしいことやこういう視点で考えてほしいといった意見があればと考えている。

委 員：認可のための審議なのか。それとも、既に市で認可していて、認可した後の運営管理のための意見なのか。

事務局：認可は、まだこれから。あくまでも認可するのは市である。認可に先立ち、市と異なる立場からのご意見をいただきたい。

なお、今回は、公共施設内での保育施設の公募というレアケース。本来なら、どこかの法人から保育所を整備したいという申し出があって、認可する前にこちらで意見を聞くという形になる。また、これからは、計画で485人分を整備することとなるので、条件を提示して公募することになる見込み。その場合にどう意見をもらうかは調整する。

委 員：学校法人で認定こども園を運営するということだが、学校法人で保育士を確保できるのか。

事務局：この法人は、豊中市でも認定こども園を運営しており、今回の保育園のために保育士を既に確保したと聞いている。

委 員：豊川支所では一旦保育施設を廃止したとのことだが、子どもを預けていた保護者への対応はどうしたのか。

事務局：平成26年4月に予定していた彩都地域の保育園開設が12月に遅れたため、緊急対策として豊川支所内に保育施設を設けた。12月に保育園が開設し、そちらへ子どもが移った。

会 長：一般論としては、子どもの保育施設は自園調理が望ましい。選考会議でも議論していると思うが、自園調理を続けてほしい。

【案件3】箕面市立地適正化計画(素案)について

案件3について、資料3「箕面市立地適正化計画(素案)について」に基づいて事務局(地域創造部)より説明

(資料3をプロジェクタでスクリーンにも映写)

事務局：案件3は、本来、子ども・子育て会議の議題とする内容ではないが、子どもや子育てなどに関わる様々な立場のかたが集まる会議ということで、委員の意見をいただきたい。

会長：時間がなくなってしまったので、案件1と同じく、意見がある場合は、直接事務局へ連絡することとする。

いま説明を受けた印象としては、「子育て支援」の視点しかなく、「子ども支援」の視点、すなわち「子育て支援」が十分でない。子どもが成長する過程も視野に入れて、コンセプトを作してほしい。

その他

今後のスケジュール予定を事務局より説明

○子ども・子育て会議は、当面開催の予定なし。

○児童福祉部会は、保育所などの認可が必要になってからのため、来年になってからの見込み。

○青少年健全育成部会は、来年2月に行われる青少年健全育成表彰の審査のため、12月に開催する予定。

会長：平日夜では翌日仕事があるかたもいるので、土曜日か日曜日に時間をしっかりとって議論したいが、いろんな意見もあると思うので、また意向を確認してほしい。

それでは、本日の案件が終了したので、会議を終了する。

Ⅲ 閉会